

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 137327106

病院施設番号： 137327 臨床研修病院の名称： 医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院

臨床研修病院群番号： 1373271 臨床研修病院群名： 新百合ヶ丘総合病院臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	新百合ヶ丘総合病院初期臨床研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	●自由選択期間が長く、自分に合ったローテートを立案することができる。 ●必修科目の地域医療は研修協力施設から選択できる。 ●24 時間体制の救急センターを運営しており、一般的疾患から専門性を必要とする救急疾患まで症例が豊富である。 ●放射線診断機器（PET-CT 1 台、MRI1.5T 2 台・3.0T 2 台、64 列 CT 3 台、血管撮影 3 台等）が充実し、臨床各科と放射線診断科・病理診断科による合同カンファレンスが充実している。 ●放射線治療装置（リニアック、IMRT 等）が整備され、放射線治療専門医が 1 名おり、カンサーボード等治療に関する合同カンファレンスが充実している。 ●ロボット手術「ダ・ヴィンチ」導入等高度先端医療に前向きに取り組んでいる。 ●消化器内視鏡検査が年間 10,000 例近くあり、内視鏡検査に係る研修も充実している。 ●令和 4 年度に「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、がん診療に積極的に取り組んでいる。 ●各診療科が研修医の受け入れ、教育に熱心である。 ●研修医教育担当のスタッフがいる。 ●2 年間の初期臨床研修終了後の専門科への受け入れができる。				
3. 臨床研修の目標の概要	新百合ヶ丘総合病院の初期臨床研修は、医師に求められる責任感・使命感を養い、診療に必要な幅の広い臨床能力を修得する為、医学部・医科大学卒業後の最初の研修として、医療に関わる基本的な知識、診療技術・態度を身に付けることを目的とする。地域の患者さんが最適で最善の医療を得る為には、高い専門性の医療と共に、患者中心の人間性・社会性が豊かな医療が必要である。そのために、当病院では 2 年間の計画されたプログラムの中で地域の中核病院として、地域に密着した良質な医療を学ぶことが研修医に期待される。				
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2 年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り 3 年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。研修後そのまま専門研修に入り、本格的専門領域の研修が可能である。				
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間） * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修 内科	137327	医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院	24 週	4.8 週	

	科目・分野	救急部門	137327	医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院	12 週	
		地域医療	086241	あさお診療所	4 週	一般外来 0.8 週 在宅診療 1~2 日
			168328	医療法人柿生会 渡辺クリニック		
			168329	医療法人社団晃進会 たま日吉台病院		
				世田谷リハビリテーシ ョン病院		
		外科	137327	医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院	4 週	週
		小児科	137327	医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院	4 週	週
		産婦人科	137327	医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院	4 週	
		精神科	030243	杏林大学医学部 付属病院	4 週	
		一般外来	137327	医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院	週	
	病院で 定めた 必修 科目				週	
					週	
					週	
					週	
	選択 科目	消化器内科	137327	医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院	48 週	
		循環器内科				
		呼吸器内科				
		内科				
		救急科				
		外科				
		麻酔科				
		小児科				
		産婦人科				
		糖尿病 ・ 内分泌内科				
		腎臓内科				
		脳神経内科				
		血液内科				
		脳神経外科				
		泌尿器科				
		消化器外科				
		呼吸器外科				
		形成外科				
		皮膚科				
		眼科				

	総合診療科				
	整形外科				
	耳鼻咽喉科				
	病理診断科				
	放射線治療科				
	放射線診断科				
	精神神経科				
	心臓血管外科				
	血管外科				
	リハビリテーション科				
	緩和ケア内科				
	集中治療科				
	膠原病リウマチ内科				

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 4 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。
研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修を並行研修で行う場合、残りの週数としてみなす休日・夜間の当直回数 約 20 回
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする
一般外来の研修を行う診療科・・・内科 （2 年次自由選択開始時より 0.5 日/週、11 ヶ月の一般外来研修を行う）※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること
精神神経科は、協力型臨床研修病院の杏林大学医学部付属病院で研修する。
必修科目で到達目標の未到達がある場合は、自由選択期間を使って補完する。
地域医療については、臨床研修協力施設から選んで 4 週間研修する。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号 は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： 137327	臨床研修病院の名称：医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院
	臨床研修病院群番号： 1373271	臨床研修病院群名：新百合ヶ丘総合病院臨床研修病院群

6. 研修スケジュール (一年次)・二年次：いずれかに○)

プログラム番号

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

[illegible]

凡例 ○×病院
(○×○×○×)

凡例 ▲■病院
(▲■▲■▲■)

凡例 △□病院
(△□△□△□)

新百合ヶ丘総合病院
(137327)

救急部門

外科

小児科

産婦人科

杏林大学医学部付属病院
(030243)

- * 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。
- * 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。
- * 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号： 137327	臨床研修病院の名称:医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号： 1373271	臨床研修病院群名:新百合ヶ丘総合病院臨床研修病院群

6. 研修スケジュール（一年次・二年次: いずれかに○）

プログラム番号 137327106

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修 分野 ＊ 2	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	11～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
あさお診療所 (086241)	地域 医療	6 6 6 6												
渡辺クリニック (168328)														
たま日吉台病院 (168329)														
世田谷リハビリテー ション病院 ()														
新百合ヶ丘総合病院 (137327)	選択 科目		6 6 6 6	6 6 6 6	6 6 6 6	6 6 6 6	6 6 6 6	6 6 6 6	6 6 6 6	6 6 6 6	6 6 6 6	6 6 6 6	6 6 6 6	6 6 6 6

＊ 1：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊ 2：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊ 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。